

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル: 「いけない」

棚: A25~A30
請求記号: Fミ

著者: 道尾 秀介 出版社: 文藝春秋 (2019年7月)

直木賞作家、道尾秀介が、ミステリーへ原点回帰したと話題の作品。4章からなるこの作品、各章の最後に出てくる絵や写真で、謎が解けたりかえって深まったりします。

そして最後の章を読んだ後、この物語全体の謎が浮かび上がってきます。

舞台となるこの街で、一体何が起こっていたのか。登場人物たちのとった行動の何がいけなかったのか。あるいは正しかったのか。

読んだ後には答え合わせしたくなる事間違いなしです。

タイトル: 「日本現代怪異事典」

棚: B1~B5
請求記号: Y388.17サ

著者: 朝里 樹 出版社: 笠間書院 (2018年1月)

まず先に。この本は読む人を選びます。万人向けではありません。オカルトや怪談好きにはたまらない、都市伝説を網羅した事典です。戦前からある「こっくりさん」、昔懐かしい「トイレの花子さん」「ベートーベンの怪」などの学校の怪談をはじめ、インターネットに出回る怪談など。主に戦後の子どもたちを中心に囁かれてきた現代の都市伝説が掲載されています。じっくり読んだりぱらぱら読んだり、出没場所や都道府県別の索引で調べてみたり。函館の怪談も載ってます。怪談好きな方は「日本現代怪異事典 副読本」と併せて読んでも面白いかも。

タイトル: 「おそとがきえた!」

棚: J3~J6
請求記号: E仔

角野 栄子/文 市川 里美/絵 出版社: 偕成社 (2009年1月)

小さな家に住むおばあさんと猫。周りは高い建物に囲まれ、窓から見えるのは落書きされた壁と投げ捨てられたごみ。そんな環境だと心が荒んでしまいそうですが、ふたりはいたわりあいながら仲良く暮らしています。でもひとつだけ、願いがありました…。

主人公のおばあさんがかわいらしくて、とても魅力的です。彼女のおかげで、読んでいるこちらにも笑顔になります。最後には、ふたりの毎日が本当に幸せそうで、心から「よかったね〜!」と声をかけたくくなりました。

冬は始まったばかりですが、春が来るのが楽しみです。

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル: 「中国なんて二度と
行くかボケ！」

棚: A1~A3
請求記号: B292.2 ㇿ

著者: さくら 剛 出版社: 幻冬舎 (2011年7月)

か弱き心を持つ!? 著者さくら剛さんが自分を振った彼女を追いかけて中国に行く。他人事ながら悲惨なトイレ事情には本当にゾッとする。まさかドアが無い!? ニーハオトイレだって!? この本の注目点は何といっても、著者が繰り広げるユーモアあふれる一人芝居だ。道中散々な目に遭っているが、ラストに「政治や歴史が絡まなければ、人間はだれとでも友達になれるみたいだ」とこぼす言葉は興味深い。

そして最後に、面白いですが内容が汚いのでご注意を。

アザゼル
タイトル: 「墮天使殺人事件」

棚: A22~A24
請求記号: 983 ㇿ

著者: ボリス・アクーニン 出版社: 岩波書店 (2015年6月)

19世紀末、帝政ロシアを舞台に主人公エラスト・ファンドーリンが難事件を解き明かす探偵活劇シリーズの第一作目です。このシリーズの魅力は何といっても主人公が美青年紳士であること。公衆の面前でピストル自殺を遂げた青年、捜査線上に浮かぶ謎の美女、事件を追いかけるうちに恐るべき陰謀に巻き込まれることになり、最後の最後でどんでん返し!

作者のボリス・アクーニンは日本文学の研究者でもあり、ペンネームの「アクーニン」は日本語の「悪人」から取ったそうです。ファンドーリンのシリーズは15作出ていますが、そのうち4作が翻訳されています。

タイトル: 「探墓巡礼 谷中編」

棚: A7~A9
請求記号: 210.61 ㇿ

著者: 探墓巡礼顕彰会 出版社: 出版舎風狂童子 (2018年9月)

箱館戦争関係の人物の墓を東京の谷中霊園を中心に探訪。激動の時代を駆け抜けた彼らの生涯や墓の詳細を紹介する本。

旧幕府軍として参加し『麦叢録』を残した小杉雅之進、同じく『函館戦争図絵』を描き後に画家となる岩橋教章、幕府若年寄から榎本政権で箱館奉行となった永井尚志、赤十字の精神で敵味方関係なく治療した医師・高松凌雲、箱館海戦において新政府軍艦朝陽丸を撃沈させた蟠竜丸艦長・松岡磐吉の他、高橋泥舟、阿部正弘、渋沢栄一ら幕末史を彩った人物も収録されています。

ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

タイトル: 「これでいいのだ!

瀬尾ごはん」

著者: 瀬尾 幸子

出版社: 筑摩書房 (2015年9月)

家のご飯は簡単でいい!というのが著者である瀬尾さんの信条。卵料理も卵かけご飯に始まり、ゆでる、焼くなど、初心者でもできるくらい簡単、だけどおいしくするコツを押さえたレシピが載っています。また、食材の保存方法、買い物の極意、冷蔵庫活用法など台所をストレスなく回す方法も紹介。

新書サイズで文章が多く、毎日の食事作りについて自分の場合を考えながら応用がきく料理本になっています。これから料理を始める人の助けになるのはもちろん、料理にちょっと疲れている人にも目新しい発見があるはず。

棚: A31

請求記号: S596.04 ㊦

タイトル: 「カーたろうと

こけしっぺ」

作・絵: 山田 美津子

出版社: 理論社 (2019年2月)

「カーたろうは、ひとりでくらしています。おにぎりをたべているとありがやってきました。」からはじまり、「カーたろうは、こけしっぺたちとたのしくくらしています。みんなでおにぎりたべようね。」で終わるこの絵本。なんと文章はこれだけ。お話は漫画のようなコマ割りで進みますが、セリフなどはありません。それでもちゃんと伝わります。

ひとりだったカーたろうが、こけしっぺに囲まれた生活を送るようになるまでのようすがとても愛らしいです。(…というか彼らは何者??ぜひご確認を。)

棚: J7~J10

請求記号: E ヤ7

タイトル: 「定年が楽しみになる!

オヤジの地域デビュー」

著者: 清水 孝幸

出版社: 東京新聞 (2018年3月)

同窓会は定年後の話で持ち切り、奥さんには「定年になってもずっと家にはいないで」と言われた50代前半の新聞記者が一念発起して定年後の生き方を模索していく奮闘記です。

女性に混じってのダンスや料理参加、将棋は小学生の女の子に本気で挑んで大人のメンツを守り抜き、ボランティアでは様々な分野に足を踏み入れては楽しみややりがいを見出し、老後の方向を見つけていく過程が面白く引き込まれてしまいました。イラストも著者のキャラクターを如実に表し吹き出してしまいます。定年延長になるかもしれない昨今、仕事でも趣味でも楽しい人生にしたいものです。

棚: A10~A12

請求記号: 367.7 ジミ